

提案者名:千葉大学大学院園芸学科教授 丸尾 達

提案事項:農業用温室工事見積もり項目の標準化による施設コストの見える化推進技術

提案内容

農業用温室を建設する際、必ず工事見積書が作成される。現状の見積書を見ると、その区分や内訳、書式等が企業により様々である。従って、複数の企業に工事見積もりを依頼した際、区分や内訳の異なる見積書では相互に比較・検討することは、容易ではない。

例:企業によって誘引資材の区分が**本体工事**か**付帯設備工事**かで異なる。

そこで、見積もり項目を標準化し、見積もり項目を同一の区分・内訳とすることで、相互の見積もり額・スペック等の比較をすることが可能になり、依頼者自身で見積もりの詳細な比較・検討が可能になる。そのことを通じて、施設コストの無駄を省き、健全な競争を促すことで、施設・設備発注の合理化を進めることができるのではないかと考え、農業用温室工事見積書の標準化を提案する。

最終的には工事全体の過剰スペックを抑え、価格の適正化を図ることで、コスト低減につながるものとする。

期待される効果

農業用温室工事見積書を標準化することにより、各工事に必要・十分な作業および資材のスペック・コストが明らかになり、複数の見積もり相互の比較・検討が容易となり、過剰スペックを抑え、価格の適正化を図ることで、コスト低減につながるはずである。つまり、施設にかかるコストを項目ごとに**見える化**し、低コスト化を実現することも可能になる。

10a当たりの導入コスト 現状 3,120 万円 → 目標 2,964 万円 （5 %減）

農業用温室工事見積もり項目の標準化による施設コストの見える化の推進

(見積項目例)

区分	内訳	内容
A 基礎工事	1 仮設工事	水盛り
	2 基礎工事	独立基礎 布基礎
	3 土間工事	土間コンクリート 防草シート
B 本体工事	1 鉄骨資材	外柱 谷柱 妻柱
	2 アルミ建具資材	樋 電動シャッター
	3 垂木等金物資材	タルキ スプリング ビス
	4 天窓開閉部材	減速機 シャフト
	5 側窓換気部材	
	6 被覆資材	エフクリーン POフィルム
	7 誘引資材	ワイヤー ターンバックル
	8 本体施工費	建方工事 天窓取付 フィルム張
C 付帯設備工事	1 カーテン	ラック原動機 サイドフィルム
	2 循環扇	循環扇 制御盤
	3 暖房機/CO ₂	炭酸ガス発生器 ヒートポンプ 加温機
	4 環境制御システム	環境制御盤 センサー類
	5 作業台車/レール	作業台車 収穫台車 台車レール
	6 細霧冷房	細霧ノズル パイプ ワイヤー
	7 栽培システム	液肥混入機 塩ビパイプ
	8 防除設備	防鳥線 ロボットスプレーカー
	9 電気工事	キュービクル 動力盤 電線
D その他	1 運賃/諸経費	

①工事見積書の体裁を左表のような区分と内訳で標準化

②複数の企業への見積もりの依頼者は標準化された見積書で比較が容易

③同一区分、内訳で比較することで、用いる資材と工事内容の違いを細かく比較

④内訳を確認することで、施設コストの合理化

見積もり項目の標準化により、施設コストが見える化されることで施設コストを合理化することが可能となり、低コスト化に向けた実証・普及につながる